

「からふる」の職員とおもちゃで遊ぶ子どもたち



愛別初 発達支援・放課後デイ「からふる」

子どもの「できる」「育てる」

【愛別】町内初の児童発達支援・放課後等デイサービス事業所「からふる」が町内本町に開設された。町内外から発達障害や軽度知的障害のある児童が通う。職員や子ども同士でゲームを楽しんだり、宿題に取り組んだりしながら、子どもたちの「できる」を育んでいる。

「ほら見て、こんなにの田古嶋直樹さん(56)は並べられたよ。ドミノ」。「愛別から事業所が多数倒しに取り組む子どもがある旭川へ30分以上かけて通っている子どもが多数。他の子どもたちもゲームに興じて、室内には明るい声が響く。町が所有する築40年を

「からふる」は旭川市内で同種の事業所「みらくる」を運営する会社「トレジャー」が昨年12月に開設した。トレジャー社長で「からふる」管理者職員は現在、田古嶋さん

旭川の会社「居場所あれば笑顔に」

を含めて8人。平日は愛別をはじめ、上川、当麻、比布各町から5歳児から小学6年生の子ども約20人を送り付きで受け入れている。

田古嶋さんは「発達障害は、他者とのコミュニケーションや学習などがうまくいかないことが多い。『居場所』をつくることで子どもたちが笑顔でいられる」と話している。

子どもは現在、1日当たり8人が通っていて、さらに2人ほど受け入れが可能という。職員の募集もしている。問い合わせは「からふる」、電話01658・3・4255へ。(弓場敬夫)